



第47回雑居まつり 発起人会および第1回実行委員会 報告

- 開催日 2022年6月25日(土) 午後7時～9時
- 会場 世田谷区児童相談所1階会議室A・B

◎配布資料

- 第47回雑居まつり 第1回実行委員会 資料
- 第47回雑居まつりの参加について
- 第47回雑居まつり 参加台帳

発起人会

- 参加団体29団体、42人が集まりました。事務局員含め、みんなで自己紹介しました。

- ・今年も感染に気をつけながら楽しみたい。
- ・昨年は食べ物を出さずどうなるかと思ったが、目移りしないのでかえって展示をよく見てくれて、たくさん話げできた。
- ・人と人が話をする。コロナ禍となり日常で話をする機会が減っているので、どんな形でもこういう場があるといいと思っている。
- ・昨年うちの団体は、子どもたちが関われなかった。今年は子どもたちが参加できるものにした。
- ・昨年は感染状況を考慮して参加をとりやめた。今年どうするか実行委員会での話し合いを持ち帰り、団体の中で話し合って決めたい。
- ・昨年は参加できなかった。今年も様子を見ながら慎重に考えたい。
- ・若い人に引き継いでいくためにも、今日は数人で実行委員会に参加した。分からない点も含めて参加していけるといいと思う。
- ・まだ団体としての参加は決めていないが、これまで雑居まつりに参加し、まつりを愛す個人としてここに参加している。

- 第47回雑居まつりの開催を拍手で確認しました。

2022年10月9日(日)、羽根木公園で開催

(開催時間・方法・荒天の場合は、今後の実行委員会で決定)

第1回実行委員会

◆報告事項

世田谷区からの助成について

1,491,008円の助成を受けられることになりました。

内訳の○手話通訳○各種消耗品○電気配線○舞台音響設置○プレハブ設置・撤去 などの多くが去年は使いませんでした。今年どのように使っていくか、規模や方法が決まってから検討していきます。

世田谷区社会福祉協議会からの「世田谷区共同募金配分金」について

10万円の助成をいただけることになりました。

(第43回雑居まつり会計報告、および雑居まつりを支える会の会計報告は次回)

◆討議事項

新型コロナウイルス感染の拡大防止が続くなか、第47回雑居まつりをどのように開催するのか、事務局が提示した「第47回雑居まつりの参加について」を参照したうえで、検討しました。

次回以降も、この討議を重ねていくので、別紙「第47回雑居まつりの参加について」を持参してください。

(1) クリーンについて

雑居まつりは「ゴミは出さない」「お借りした公園を借りる前よりきれいにして返そう」「日常の生活を見直すきっかけになると良い」ということを念頭に、第44回(2019年)まで、団体からクリーン係を選出し、雑居まつり式(公園のゴミ箱封鎖、雑居のゴミ箱設置、ゴミ分別の徹底と処理)を実践してきました。しかし去年は、実行委員会で話し合いを重ねた結果、感染の危険を回避するなどの理由から、雑居まつり式をすべて止めました。

●今年はどうするか？

・今年食糧を出したい(=ゴミが出る)。出したい団体が持ち帰れば良いのではないかと。→来場者の出すゴミは団体だけでは責任を持ってない。また、雑居まつりで出るゴミは、食糧を扱う団体だけの問題ではなく、実行委員会全体でどうするか決めるべきだ。

・「自分のゴミは持ち帰りましょう」と当日会場内で周知すれば良いのではないかと。→まつりの会場は、閉ざされていないし、羽根木公園には雑居まつり参加者だけではなくいろんな人が来園しているので、持ち帰りを徹底するのは、非常に難しい。園内の売店などにも負担がかかってしまう。

・飲食エリアを決め、そこにゴミ箱を集中して設置すれば良いのではないかと。→食糧OKにすれば必ずゴミは出る。公園は開かれているので、エリア以外の人の感染の危険を回避できない。

結論:クリーン係は、おかない。

今年のクリーン方法については今後の実行委員会で考えていく。

(2) 食べ物の販売について

従来、食べ物を販売する場合、(1)と同様に、「なるべくゴミを出さず環境に負荷をかける」ことを目的に、雑居まつり式(マイ食器持参のよびかけ、貸出し食器の使用、食器を洗う水場の設置)を実践してきました。しかし昨年は、感染拡大防止のために、「模擬店」や「バザー」を行いませんでした。

●今年、食べ物を販売することを可とした場合、包材・食器・容器はどうするか？

・貸出し食器はあきらめて、使い捨て食器に切り替えても良いのではないか。

→「ゴミを出さない」「環境に配慮する」というのは雑居まつりの大事な指針。そこを覆しても良いものか。

・食べ物を扱う団体でゴミを回収する、自分たちで食器を煮沸消毒している等の工夫がなされているので、食べ物をやりたい団体に任せてもらえないか。

→ゴミ問題と同様、全体に関わることだ。実行委員会で考えて、共有していく事が大切。

結論は、次回に持ち越しとなりました。

資料「第47回 雑居まつりの参加について」に基づいて、引き続き話し合っていきます。

●その他

・食べ物OKの場合でも、感染リスクを考えるとスタッフや子どもたちにこれまで休憩時間に「食べてきていいよ」と言えたけど、空気にふれることを考えると、今までと同じように模擬店で飲食をすすめられない。個包装されたものであれば多少安心できるが…。

・ともかくどっちか決めないと話が始まらないのでは。

(3) 参加台帳の提出(参加台帳の締め切り:7月30日)

今日の実行委員会で、参加有無、参加内容を判断するためのものが決まらなないと、30日までに台帳が書けないし、出せない。

今日の話し合いでは参加を決められないとの意見がありました。

検討事項は、今回だけで結論が出ないことが多くあります。

ですが、今年の雑居まつりの開催方法に 参加団体の数も大きく関わってくるので、参加意思のある団体数を把握して、全体の規模を想定する必要があります。

今の状況で「出たい気持ち」があれば、参加台帳の提出をお願いします。今後の実行委員会の討議により、参加を断念したり、参加内容の変更があったりしてもかまいません。

◆今後の予定

○第2回実行委員会 7月30日(土)午後7時～ 児童相談所1階会議室A・B

◆事務局連絡先

〒154-0021 世田谷区豪徳寺1-4-1-6 地域ボランティア活動センター内

[TEL兼FAX]03-3428-4891 [連絡用携帯電話]080-3310-3393

[URL] <http://www.zakkyo.jp/>

○事務局には常駐スタッフがおりません。不定期に留守番電話やFAX、郵便物を確認して折り返しご連絡をしています。お急ぎの場合は、連絡用携帯電話をご利用ください。留守番電話に入れる場合には必ず団体名とメッセージを残しておいてください。